



平成 20 年 4 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ド ワ ン ゴ  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 小 林 宏  
(コード番号：3715東証第一部)  
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 松 本 康 一 郎  
業 務 本 部 長  
(TEL. 03-3664-5477)

平成 20 年 9 月 期 中 間 期 末 の 投 資 有 価 証 券 評 価 損 お よ び  
中 間 期 ( 連 結 ・ 個 別 ) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

投資有価証券評価損の発生についてお知らせするとともに、平成 19 年 11 月 13 日付で公表いたしました平成 20 年 9 月 期 (平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日) 中間期の連結業績予想および個別業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 投資有価証券評価損について

保有投資有価証券のうち、実質価額が下落し、その回復があると認められないものについて、平成 20 年 9 月 期 中 間 期 において減損処理による投資有価証券評価損を計上いたします。

(1) 連結

(A) 平成 20 年 9 月 期 中 間 期 末 の 投 資 有 価 証 券 評 価 損 の 総 額	388 百万円
(B) 平成 19 年 9 月 期 総 資 産 額 (A/B×100)	25,516 百万円 (1.52%)
(C) 平成 19 年 9 月 期 経 常 利 益 額 (A/C×100)	317 百万円 (122.1%)
(D) 平成 19 年 9 月 期 当 期 純 利 益 額 (A/D×100)	△1,408 百万円 (-%)

(2) 個別

(A) 平成 20 年 9 月 期 中 間 期 末 の 投 資 有 価 証 券 評 価 損 の 総 額	388 百万円
(B) 平成 19 年 9 月 期 総 資 産 額 (A/B×100)	24,177 百万円 (1.6%)
(C) 平成 19 年 9 月 期 経 常 利 益 額 (A/C×100)	△428 百万円 (-%)
(D) 平成 19 年 9 月 期 当 期 純 利 益 額 (A/D×100)	△1,747 百万円 (-%)

### (3) 投資有価証券評価損計上の理由

投資有価証券評価損 388 百万円のうち 319 百万円は、平成 19 年 1 月に取得いたしました S. M. Entertainment Co., Ltd. 株式の評価損であります。同社は KOSDAQ 市場に上場しており、平成 20 年 3 月中間期末において、時価が著しく下落したため、減損処理を行ったものであります。

## 2. 業績予想の修正について

最近の業績動向を踏まえ、平成 19 年 11 月 13 日付で公表いたしました平成 20 年 9 月期(平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日) 中間期の連結業績予想および個別業績予想を修正いたします。

### (1) 連結

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成 19 年 11 月 13 日(A))	12,800	△430	△400	△500
今回見通し(B)	12,400	30	60	△500
増減額(B-A)	△400	460	460	0
増減率(%)	△3.1	—	—	—
(ご参考)前中間期(平成 19 年 3 月期)実績	11,009	133	115	△1,653

### (2) 個別

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(平成 19 年 11 月 13 日(A))	8,600	△480	△450	△460
今回見通し(B)	9,100	100	130	△320
増減額(B-A)	500	580	580	140
増減率(%)	5.8	—	—	30.4
(ご参考)前中間期(平成 19 年 3 月期)実績	7,776	△359	△337	△1,876

### (3) 修正の理由

売上高につきましては、モバイル事業において人気楽曲の権利獲得を積極的に行ったことなどにより、着うた・着うたフルサイトの会員数が順調に推移いたしました。一方、ゲーム事業において、一部タイトルの販売時期のずれ込みや販売計画本数の未達、さらにポータル事業において、「ニコニコ動画」のプレミアム会員数の計画未達などにより、平成 19 年 11 月 13 日に公表いたしました予想を下回る見込みであります。

経費につきましては、着うた・着うたフルの利用増加により著作権使用料が増加いたしました。外注費や広告宣伝費、研究開発費などを圧縮したことにより、営業利益および経常利益が大幅に改善いたしました。

「ニコニコ動画」に掛かる費用につきましては、ほぼ計画通りに推移しております。

当サービスは、昨年 3 月より本格的なサービスを開始しており、その会員数は中間期末現在 600 万人を超えておりますが、急成長に合わせた投資が先行しており、未だ本格的な収益への貢献には至っておりません。

また、上記1. のとおり保有投資有価証券の評価損計上などを主な要因として、中間期業績予想を修正するものです。

結果、中間期の連結業績については、売上高 124 億円（前期比 12.6%増）、営業利益 30 百万円（前期比 77.4%減）、経常利益 60 百万円（前期比 47.8%減）、中間純損失 5 億円、個別業績については、売上高 91 億円（前期比 17.0%増）、営業利益 1 億円、経常利益 1 億 30 百万円、中間純損失 3 億 20 百万円を見込んでおります。

また、通期の連結業績見通しにつきましては、平成 19 年 11 月 13 日付で公表いたしました平成 20 年 9 月期（平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）の連結業績予想および個別業績予想から修正はございません。

配当につきましては、前回予想発表時どおり年間 2,000 円を予定しております。

以 上